



大人も勉強が大切

豊福健 医療の進歩は日進月歩ですので、常に新しい知識を入れる努力が必要です。夜には勉強会がありますし、新しい文献が出ればチェックします。この仕事に一番必要なのはモチベーションですね。勉強も努力も接客も、モチベーションがないと続けられません。しんどい仕事ですから、どれだけやる気を保てるかが重要です。

豊福香織 私も夜に研究会に出かけて、帰りが遅くなることがあります。二人の子供を育てているのですが、まだ5歳の上の子は「ママは今日、お勉強会だから」と分かってくれています。私が仕事や勉強で忙しくしているのを見て育てているので、もう当たり前なことだと受け止めてくれているんでしょう。「大人になっても勉強するんだよ」ところをしっかりと理解してくれていますね。

小山 私たちの仕事でも、勉強は必要です。楽をしようと思えば、全部人に聞いてしまえばいいのですが、自身で条例や規則などを調べて、しっかり把握すればするだけ仕事が早く正確になります。正確な知識を持たずに「じゃあちょっと考えてみます」とか「できると思います」なんてあいまいに答えてしまうと、変に相手に期待を持たせてしまってよくないです。あいまいなことが一番のトラブルのもとになりますからね。根拠になる条例や規則などを的確に示し、「できるかできないか」をはっきり伝えることが大切です。

当コーナーの参加者募集!

今回は、鍛冶屋の仕事を体験します。受入れ先は「Metal NEKO」(埼玉県狭山市)の予定です。代表を務める金子さんの指導の下、鉄製のオリジナルフライパンを実際に製作します。是非ご応募ください!

応募方法 差込の「かがやき」編集担当宛てはがきにある「仕事を学ぼう!」への参加希望の欄にチェックを入れてお申し込みください。

応募締切 平成26年10月24日(金) 必着

取材時期 10月下旬

休む間がありません。二人の働きぶりを目の当たりにした小山さんは「休憩どころか、動きっぱなしで腰掛ける時間すらないのですね。ここまで忙しいとは思いませんでした」と驚いていました。

個人経営の動物病院は獣医師一人体制のところが多いのですが、同院では二人いる強みを活かし、夫婦で役割分担しながら対応していきます。忙しい中でも豊福香織副院長は「私は小学生の頃から抱いてきた『獣医になる』という夢を叶えられました。小さい頃に憧れた仕事に就いているのはとても幸せなことだと思います。だから、多少



待合室で開かれたバビーパーティーを見学。生後1歳までの子犬(バビー)に人間や他の犬との正しい接し方を身に付けさせるトレーニングです

豊福院長は動物が元気に帰っていく姿や、飼い主からの『ありがとう』という言葉がこの仕事の一番のやりがいだといいます。「病気が治らない動物や亡くなる動物も残念

ながらいて、僕たちも悲しい思いをします。ですけど、この仕事はそれだけじゃない。やはり飼い主様が笑顔で感謝の気持ちを伝えてくれると、すごく元氣をもらえます」

学校事務は裏方になることが多いですが『ありがとう』の気持ちは毎日伝わってくるという小山さん。その上で「大切なのは、相手が求めているものを推し量って進めることです。そこで重要なのは傾聴力です。まずは相手の話を聴き、必要なことをいかに引き出すか。当然、聴くだけでは解決しないので、分かりやすく伝えることも大切」と話します。

この日、動物病院の仕事の現場を間近で見学した小山さんは、自身のペットの診療に訪れた時の印象とは大きく違ったようです。獣医師の二人と仕事というものについて意見交換できたことで、意外な共通点などを知り、充実した様子で仕事体験を終えました。



来院した飼い主や犬とコミュニケーションをとる小山さん



つらいことがあっても、自分で選んだ道だから苦になりません」と気丈に話します。

動物とは言葉で意思疎通できませんので、診察では触診などの身体検査でどこが悪いのかを判断することはもちろん、家での状況を飼い主からどれだけ聞き出せるかというのも大切です。「動物が楽になり、飼い主様も満足してはじめて、仕事があまくいったということになります。飼い主様が求めていることがそれぞれ違うので、治療をどこまでやるべきなのかというのは、誤解なく判断しないとけません」と豊福院長は動物病院ならではの難しさを教えてくれました。それを聞いた小山さんは自身の立場に置き換え、こう語りました。「私は学校事務

それぞれの仕事で大切なこと

員ですけど、接客・サービス業という一面もありますので、相手に満足していただくのが本来のあり方です。そういう意識を持って私たちも仕事にあたりたいといけません。業界は違いますが、通じる場所があるのかかと気付かされました。



今回の都内の中学校で事務職員をしている小山博和さんが、動物病院の仕事をご紹介します。受入先は、獣医師である豊福健さん香織さん夫妻がそれぞれ院長、副院長となつて2011年に開業した西ヶ原ローズ動物病院(北区)です。

仕事を実際に体験させてもらうことが難しいために見学が中心になりますが、普段は入ることができない動物病院の裏側を知る貴重な機会になると思います。

子供の頃から動物好きだという小山さんは今、1歳6か月になる雌のロングチワワを飼っているそうです。日の出が早い夏場は早朝4時に起き、暑くならないうちに散歩をさせてから出勤することです。「犬中心の生活になっています」と照れ笑いを浮かべた後、「話ができな

飼い主の満足が大事

午前9時の開院直後から次々と来院者がやってきました。この日は土曜日で、一週間で最も忙しいそうです。診察、処置、検査、手術、電話応対などを次々とこなしていかなければならず、

い動物だからこそ、一緒に暮らしている飼い主は責任を持って面倒をみないと」と話しました。

開院前に豊福院長が院内を案内してくれました。受診した場合、通常は診察室までしか入れませんが、その奥にある処置室やレントゲン室、手術室、入院室などを見学。血液検査機器や心電図モニターなどの医療機器が並び、小山さんは「人間が健康診断を受けてもいいかなってくらいの設備があるんですね」と感心していました。



組合員×プロフェッショナル 仕事を学ぼう!

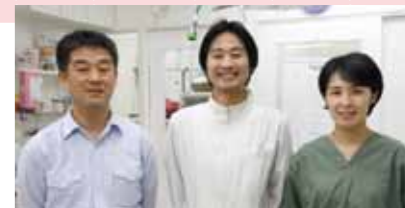
このコーナーは組合員が異業種の職場を訪れ、その仕事を体験する企画です。普段とは違う仕事をし、その道のプロの方たちと意見交換することで、新たに学ぶことも多いものと思われます。



動物病院の仕事

Veterinarian

- 午前8時30分 オリエンテーション
- 午前9時 開院、診察見学
- 午後11時30分 昼食
- 午後12時30分 診察・バビーパーティー見学
- 午後3時 対談
- 午後3時30分 解散



子供の頃から動物好きという小山さん(左)を迎えた優しい笑顔の豊福健院長(中)と豊福香織副院長(右)

動物病院の裏側へ

今回の組合員代表

八王子市立第四中学校勤務 小山博和さん

学校事務を30年近く務めるベテランで、昨年から八王子市立第四中学校に赴任し、事務職員として勤務しています。仕事はもちろん、ペットにも真摯に向き合う方で、愛犬「リム」ちゃんにも日ごと愛情を注いでいます。

今回のプロフェッショナル

獣医師 豊福健さん・香織さん

夫婦共に獣医師として動物の診療にあたる二人。忙しい時でも頻繁に言葉を交わし、うまく役割分担しながら仕事をこなしています。健さんは獣医循環器認定医として動物の心臓病の診断と治療に取り組んでいます。